

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語	前期2単位	中田 景子	6	6	4

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、正確に読解する力をつける。さらに、自分の考えをまとめ表現する力をつける。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、国語総合の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

必ず、辞書と便覧を手元に置き、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。教科書はありませんので、学習資料を使いながら学習を進めていきます。

◇履修にあたっての留意点

現代文の作品は声に出して読み、わからない漢字にはチェックを入れるなどし、必ず予習をしてきてください。また、意味のわからない語句や漢字がわからない語句があればすぐに辞書をひく習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	4月21日・22日	漢字の学習 ことわざ・故事成語の学習	P1～2
2	4月28日・29日	口語文法の学習 品詞の学習	P2～6
3	5月26日・27日	現代文の学習①（評論文） 慣用句の学習	P6～8
4	6月23日・24日	古文の学習 漢文の学習	P8～10
5	6月30日・7月1日	敬語の学習 原稿用紙の使い方	P10～12
6	7月14日・15日	現代文の学習②（随想）	P13～16

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポートの評価、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合①	前後期2単位	篠遠 秀樹	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成します。また、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにするとともに、言語文化に対する関心を深め、学ぶ態度をはぐくみます。

◇科目の概要

国語総合①では、中学校までの学習の上に立って、現代を代表する著者による、さまざまなジャンルの現代文を読みます。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視して下さい。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日 前期 後期	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月21・22日 10月13・14日	現代文 随想 待つということ	110～113
2	4月28・29日 10月27・28日	現代文 評論 未来をつくる想像力 詩 二十億光年の孤独	56～62 70～71
3	5月26・27日 11月3・4日	現代文 小説 羅生門	80～94
4	6月23・24日 12月1・2日	現代文 短歌 その子二十 俳句 春風や	134～144
5	6月30・7月1日 12月8・9日	現代文 評論 真の自立とは	208～215
6	7月14・15日 1月5・6日	現代文 小説 沖縄の手記から	173～196

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合②	後期2単位	中田 景子	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◇科目の概要

中学校までの学習の上に立ち、古典の入門から始まって、代表的な古文・漢文を鑑賞します。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視してください。また、歴史的仮名遣いなど、古文の基本を覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書（NHK出版） 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月13日・14日	古文 古文に親しむ 児のそら寝	246～ 253
2	10月27日・28日	古文 徒然草 亀山殿の御池に 奥山に、猫またといふもの	266～ 268
3	11月3日・4日	漢文 訓読の基本 故事 守株	318～ 325
4	12月1日・2日	漢文 唐詩 春暁 江雪 贈汪倫 論語	332～337 343
5	12月8日・9日	古文 折々のうた	282～287
6	1月5日・6日	古文 伊勢物語 芥川 筒井筒	298～ 303

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B①	2	大沢 実	6	6	3

【科目の目標】

基礎的な古文の読解力を身につける。

また、さまざまな教材を通して伝統文化を学び、作品読解により、ものの見方や考え方を広げる。

【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高める。

【学習の進め方】

まず教材本文をきちんと読めるようにする。

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、現代語訳ができるように努める。

【履修にあたっての留意点】

古文の読解には時間がかかります。同じことを繰り返し学習することが大切です。

また、細かいことまで学習しなければなりません。根気よく学習してください。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	04月21日 04月22日	提05月09日 合05月16日	古文読解の基礎（古典文法）	文法テキスト P7-p98
2	05月12日 05月13日	提05月12日 合06月06日	説話：『十訓抄』『唐物語』 和歌：『万葉集』	P12-13 P98-99 P50-52
3	05月26日 05月27日	提05月30日 合06月06日	物語：『竹取物語』 『伊勢物語』	P18-21 P26-27
4	06月23日 06月24日	提07月02日 合07月09日	漢文：漢文学習の基礎・故事 漢詩・『老子』	P168 P216 P184・186 P222
5	07月07日 07月08日	提07月18日 合08月22日	随筆：『枕草子』・『方丈記』 『徒然草』	P62-63 P66 P42-43 P34
6	07月21日 07月22日	提07月25日 合08月22日	日記：『更級日記』 物語：『源氏物語』	P70-71 P134-136

【テ ス ト 範 囲】 ◇ 中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇ 期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】 教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』

文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B②	2	篠遠 秀樹	6	6	3

【科目の目標】

古典の基礎知識を活用しながら古典に自ら触れることにより日本の伝統文化を学び、ものの見方や考え方を磨き、より豊かな人間性確立の一助とします。

【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高めましょう。

【学習の進め方】

まず、本文がきちんと読むことができるように練習します。次に、文法・古語の知識を活用しながら自ら現代語訳をつくりましょう。最後に、テキストの全体を通した内容理解を深めます。

【履修にあたっての留意点】

長い命を持つ古典作品は多くの人々に大事にされ読み継がれたものです。しかし、時代が離れているだけに、分かりにくいところも多いものです。ゆっくりと味わうつもりで学習を進めて下さい。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書（学習書） ページ
1	10月6日 10月7日	提10月23日 合10月29日	古文学習の基礎・軍記物語「平家物語」 冒頭・随筆「枕草子」冒頭	P78(103) P60(74)
2	10月20日 10月21日	提10月31日	随筆「奥山に、猫またといふものありて」(徒然草)「安元の大火」(方丈記)	P36(41) P44(53)
3	10月27日 10月28日	提11月7日 合11月14日	説話「小式部内侍が大江山の歌の事」 (古今著聞集)・和歌「古今和歌集」「新古今和歌集」	P14(16) P56(68)
4	12月8日 12月9日	提12月12日 合12月24日	漢文の学習・「故事・寓話」	(214)P169(205)・ P171(209)・ P185(230)
5	12月15日 12月16日	提1月7日	物語「かぐや姫の昇天」(竹取物語)・ 日記「源氏物語の五十余巻」(更級日記)	P22(27)・P71(91)
6	1月12日 1月13日	提1月16日 合1月23日	物語「若紫」(源氏物語)	P137(170)

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』

文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語表現 (前)	2	大沢 実	6	6	3

【科目の目標】

ことばのおもしろさを伝えることで、言葉への興味・関心を深めさせ、文章表現の基礎を身につける。
さまざまな作文・小論文の課題を通じて、ものの見方や考え方を高め、世界観を拓げる。

【科目の概要】

ことばの理解を深め、文章表現の中での使用できる力を向上させる。

【学習の進め方】

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、文章表現ができるように努める。

【履修にあたっての留意点】

国語表現の学習には時間がかかります。ただ書けばいいというものではありません。
丁寧に学習をしていきましょう。根気よく学習してください。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	04月21日 04月22日	提05月09日 合05月16日	文章表現の基礎	教 P12-17 国語表現学習テキスト
2	05月12日 05月13日	提05月23日 合06月06日	文章の書き方	教 P06-12 国語表現学習テキスト
3	05月20日 05月21日	提05月31日 合06月07日	「わかりやすい説明」「エッセイを書く」 「スピーチの方法」	教 P18-19 P137-148 教 P46-49
4	06月24日 06月25日	提07月05日 合07月10日	「人とつながる言葉」	教 P52-P59
5	07月01日 07月02日	提07月24日 合08月23日	「小論文Ⅰ」	教 P24-P29 教 P36-P37
6	07月15日 07月16日	提07月31日 合08月23日	「小論文Ⅰ」	教 P30-P35

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：教育出版『国語表現』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

サブテキスト：『国語表現学習テキスト』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語表現 (後)	2	大沢 実	6	6	3

【科目の目標】

ことばのおもしろさを伝えることで、言葉への興味・関心を深めさせ、文章表現の基礎を身につける。
さまざまな作文・小論文の課題を通じて、ものの見方や考え方を高め、世界観を拓げる。

【科目の概要】

ことばの理解を深め、文章表現の中での使用できる力を向上させる。

【学習の進め方】

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、文章表現ができるように努める。

【履修にあたっての留意点】

国語表現の学習には時間がかかります。ただ書けばいいというものではありません。
丁寧に学習をしていきましょう。根気よく学習してください。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月06日 10月07日	提10月23日 合10月29日	文章表現の基礎	教 P12-17 国語表現学習テキスト
2	10月20日 10月21日	提10月31日 合11月14日	文章の書き方	教 P06-12 国語表現学習テキスト
3	10月27日 10月28日	提11月07日 合11月14日	「わかりやすい説明」「エッセイを書く」 「スピーチの方法」	教 P18-19 P137-148 教 P46-49
4	12月01日 12月02日	提12月12日 合12月24日	「人とつながる言葉」	教 P52-P59
5	12月08日 12月09日	提01月07日 合01月23日	「小論文Ⅰ」	教 P24-P29 教 P36-P37
6	01月05日 01月06日	提01月16日 合01月23日	「小論文Ⅰ」	教 P30-P35

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：教育出版『国語表現』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

サブテキスト：『国語表現学習テキスト』

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代文 B①	前期 2 単位	中田 景子	6	6	3

◇科目の目標

さまざまなジャンルの現代文を読むことを通して、思考力を伸ばし、問題意識をはぐくみ、豊かな感性を養う。

◇科目の概要

より高いレベルの文学作品を鑑賞し、また、評論文や小説、エッセイなどの正確な読み取りができるようにする。

◇学習の進め方

筆者・作者は何を言おうとしているのかを常に考えるようにして下さい。また、学習書や辞書も活用し、わからない語句は調べながら読解して下さい。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らないことがらや言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自発的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4 月 28・29 日	「わたしはあなただったのかもしれない」 「コミュニケーションの文化」	p. 8～ p. 120～
2	5 月 19・20 日	「情けは人の……」 詩「こころ」	p. 70～ p. 252～
3	5 月 26・27 日	「話をきかせて」	p. 206～
4	6 月 23・24 日	「山月記」	p. 349～
5	7 月 7・8 日	「名所絵はがきの東西」 「記憶のゆがみ」	p. 129～ p. 234～
6	7 月 21・22 日	「僕らの時代のメディア・リテラシー」	p. 267～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

◇使用教科書・副教材 標準現代文 B (第一学習社) 学習書 (NHK 出版)
新国語便覧 (第一学習社)